

研究課題名	病理学的低悪性度な小型非小細胞肺癌の術後再発に関わるメカニズムの解析
研究期間	2025年1月27日～2028年3月31日
研究の対象	E2009-9938(被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存)研究にて試料・情報の保管について同意をいただいた患者さんのうち、2010年1月1日から2024年3月31日の間に広島大学病院呼吸器外科で原発性肺癌に対して手術による治療を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：今回の研究では、肺癌手術後の再発を起こしてしまった症例の遺伝子発現や蛋白質発現を詳しく解析することによって、癌の浸潤・転移に関わるメカニズムを明らかにし、そのメカニズムを応用した治療法開発の手助けになる結果が得られると見込んでいます。 研究の方法：診療録(カルテ)情報と手術で切除された標本を調査に用います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、手術の種類、腫瘍の部位、喫煙歴、病期、顕微鏡検査での腫瘍の特徴、検討対象となる遺伝子形態の有無等、再発の有無、生存期間 試料：手術で摘出した組織(E2009-9938)
外部への試料・情報の提供	本研究に関わるRNA解析は、シンガポールに所在するノボジーン株式会社に委託します。 試料から個人が特定できる情報を削除した上で冷凍便にてノボジーン株式会社へ郵送します。 委託先： NovogeneAIT Genomics Singapore Pte Ltd 30 Biopolis Street, Matrix Building, B2-14E, Singapore 138671 Sample Receiving Department シンガポールにおける個人情報の保護に関する制度は、個人情報保護委員会のWEBページをご覧ください。 <a href="https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku">https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku</a> またノボジーン株式会社では個人情報の保護に関する規定を有し、その規定に基づいて個人情報を保護しています。なお、個人が特定できる情報を削除した上で試料を提供するため、委託先において個人の特定はできません。
利用または提供を開始する予定日	2025年1月(実施許可日以降)

<p>個人情報の保護</p>	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>具体的には、試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、新しく代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、本院の広島大学病院呼吸器外科 見前 隆洋が保管・管理します。</p>
<p>研究組織</p>	<p>本学の研究責任者  原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター  腫瘍外科 教授 岡田 守人</p> <p>研究機関の長  広島大学理事 田中 純子</p>
<p>その他</p>	
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  T e l : 082-257-5476(外科外来)  広島大学病院 呼吸器外科 見前 隆洋</p>